

第1回：会話分析とは何か：会話データから何がわかるのか？どのような学問分野と関わるのか？
第2回：会話データの準備（コーパス、YouTube、自分で収録）
第3回：会話分析の基礎概念
第4回：ビデオデータ観察事始め
第5回：文字起こし（身体行動、民族誌（エスノグラフィー））
第6回：文字起こし（語句、韻律、パラ言語）
第7-8回：会話分析の基礎概念の検証
第9-10回：会話分析の学際的展開：人類学・言語学を例に
第11-14回：会話分析研究の実践
第15回：フィードバック（各自の研究成果を発表）

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

授業への貢献度（授業中のプレゼン等を含む）70%
期末プレゼン30%

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
串田秀也・好井裕明（編）『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』（世界思想社, 2010年）ISBN: 4790714691
串田秀也・平本毅・林誠『会話分析入門』（勁草書房, 2017年）ISBN:4326602961（京都大学図書館電子リソースで電子版を読むことができます。）
高田明『相互行為の人類学：「心」と「文化」が会う場所』（新曜社, 2019年）ISBN:4788516071
平本毅・横森大輔・増田将伸・戸江哲理・城綾実（編）『会話分析の広がり』（ひつじ書房, 2018年）ISBN:4894768534

【授業外学修（予習・復習）等】

授業の展開に応じて、授業外での課題に取り組んでいただきます。具体的には以下の通りです。
・自分の身の回りでの会話を収録するなどして分析対象のデータを用意する
・データの分析対象部分を文字起こしする
・会話分析に関する入門的文章を読み、担当範囲をプレゼンする
・データ中の特に興味深い箇所について、授業で学んだ内容を踏まえた観察を行う

【その他（オフィスアワー等）】

この授業を選ぶかどうか迷った場合は、参考書に挙げている書籍を図書館等で探し、パラパラとめくってみて面白そうと思えるかどうかという観点から判断してみると良いかもしれません。

【主要授業科目（学部・学科名）】